

平成23年

## 第4回市議会（臨時会）

会期11月28日

会期中に、補正予算案5件（原案可決）、条例案2件（原案可決）の議案の審議をしました。また、3件の報告を受けました。

## 総務文教委員会に

## 付託された議案

## ●一般職員の給与に関する条例等の一部改正について

## ●一般職員の給与の特例に関する条例等の一部改正について

Q 一般職職員給料は減額になっているが、職員手当が増額になっている理由を問う。

A 今回の人事院勧告により給料は減額となっている。時間外手当は当初予算で時間外手当を計上する際に、一定割合をかけたものとしているが、その後の業務量の変化、会計間の人事異動により増額となっている。

る。また、住居手当についても人事異動や住所変更により減額となっている。

Q 過去からの給料削減措置によりこれまでどの程度減額しているか問う。

A 管理職の給料については平成23年1月から1年間引き伸ばし、2千600万円の減額となる。一般職員については、年額5千万円程度の減額である。

※採決の結果、原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果  
原案のとおり可決

平成23年

## 第5回市議会（定例会）

会期12月1日～15日

会期中に、決算10件（認定）、補正予算案1件（原案可決）、条例案1件（原案可決）、人事同意案件1件（原案同意）、その他6件（原案可決）、請願1件（原案可決）、意見書1件の議案審議をしました。

## 総務文教委員会に

## 付託された議案

## ●平成23年度大竹市一般会計補正予算について

Q ごみ固形燃料施設の維持管理に要する経費において、消耗品3,160万円を減額している。修繕を先送りしたと受け取ったが、そうすることにより支障がないのか。また、この減額は効果としての表れか、一過性のものか問う。

A 成形機リングダイプレスロールの交換時期は、3～4か月であったが、摩耗の原因となる砂などを取り除くなどして、許容範囲内で交換時

期を6か月程度伸ばした。これは平成20年度から専門の嘱託職員を採用しその指導によるもので、効果が表れたのは昨年度からである。来年度からについても、指導の効果や在庫もあるため交換台数を削減する予算としたい。

※討論はなく原案のとおり可決

## ●大竹市奨学金貸付条例の一部改正について

当初の議案は、『奨学金の返還免除制度』において、免除要件を、

○新規返還者については、卒業後6カ月間大竹市に居住し、その後居住していること

または、

○すでに返還をしている方については、前年の1年間大竹市に居住しており、その後居住していること

としていたが、諸般の事情により議案は撤回され、新たな議案は、

○新規返還者も、すでに返還をしている方も、大竹市に継続して2年間居住し、引き続き大竹市に居住していること

を免除要件とした内容となった。